

公立置賜総合病院救命救急センターの状況について

1 概要

- | | |
|-----------------|---------------------|
| (1) 施設名 | 公立置賜総合病院 救命救急センター |
| (2) 救急病院認定年月日 | 平成12年10月25日 |
| (3) センター運営開始年月日 | 平成12年11月 1日 |
| (4) センター運営形態 | 併設型 |
| (5) センター運営病床数 | 20床(ICU 8床、HCU 12床) |

2 医師の体制（令和4年度）

- (1) 平日日勤帯
医師は4人体制(+研修医)及び全科でオンコール対応。非常勤救急応援医師対応。
- (2) 休日日勤帯
医師は4人体制(+研修医)及び全科でオンコール対応。
- (3) 夜間
医師は3人体制(+研修医)及び全科でオンコール体制。
平日の午後7時から10時までの3時間、医師会から医師1人の応援体制あり。

3 患者動向（令和4年度）

- (1) 地域別では、構成団体(長井市、南陽市、川西町、飯豊町)で71.0%となっている。
- (2) 科別では、割合が高い3科(内科、整形外科、小児科)で65.2%となっている。
- (3) 外来、入院ともに80歳代の患者が最も多い。
- (4) 1日平均患者数は50.1人(平日平均48.3人、休日平均53.8人)となっている。
- (5) 患者態様別では、一次救急患者数(外来診療のみの患者)が、13,685人(74.9%)、二次救急患者数(一般病棟入院患者)が2,894人(15.8%)、三次救急患者数(救命病棟入院患者)が1,690人(9.3%)となっている。
- (6) 救急車搬送数は1日平均12.2人(全患者数の24.4%)となっている。
- (7) 外来患者数は、R3年度17,388人に対してR4年度18,269人と881人増加した。
内訳は、前年度比で一次患者が737人の増加、二次患者が52人の減少、三次患者が196人の増加となっている。